

**JASDAQ**

2021年5月12日

各位

会社名 第一建設工業株式会社
代表者名 取締役社長 内田 海基夫
(コード : 1799 東証JASDAQ)
問合せ先 執行役員経理財務部長 小出 昭広
電話番号 025-241-8111

中期経営計画の策定に関するお知らせ

当社は、2021年度を初年度とする「中期経営計画 D-Vision 2025 (2021年度～2025年度)」を策定いたしましたのでお知らせいたします。

建設業界を取り巻く経営環境においては、公共建設投資は政府の経済対策等により底固く推移しているものの、民間建設投資は新型コロナウイルス感染症の影響により大幅に減少することが予想され、非常に厳しい状況が続くものと思われま

す。本中期経営計画においては、新型コロナウイルス感染症が今後2年間は特に大きく経済活動に影響を与え、コロナ前に回復するまでには数年を要するものと想定しております。

このような状況のなか、「2025年にありたい姿」に向けて急激に変化する内外の環境に的確に対応しながら、さらなる受注拡大を目指すとともに、SDGsの取り組みを理解し、ESG経営を積極的に推進していくことで持続的成長と企業価値向上を実現させることを目標に策定いたしました。

鉄道工事を基盤とした総合建設業として、安全・安心を最優先に考え、地域の皆様の発展や生活の質の向上に寄与することで、全てのステークホルダーの皆様から高い信頼と評価を得られるよう目標達成に向けて取り組んでまいります。

詳細につきましては、添付資料をご覧ください。

以上

D-Vision 2025

中期経営計画
2021 ~ 2025



人に夢、街にぬくもり

第一建設工業株式会社

1. D-Vision2025 の位置付け	・・・・・・・・・・・・・・・・	P 2
2. D-Vision2025 の振り返り	・・・・・・・・・・・・・・・・	P 3 ~ 4
3. 事業環境認識と当社の強み・課題	・・・・・・・・・・・・・・・・	P 5
4. D-Vision2025 経営構成	・・・・・・・・・・・・・・・・	P 6
5. D-Vision2025 事業戦略	・・・・・・・・・・・・・・・・	P 7 ~ 10
6. ESG経営&SDGs	・・・・・・・・・・・・・・・・	P 11



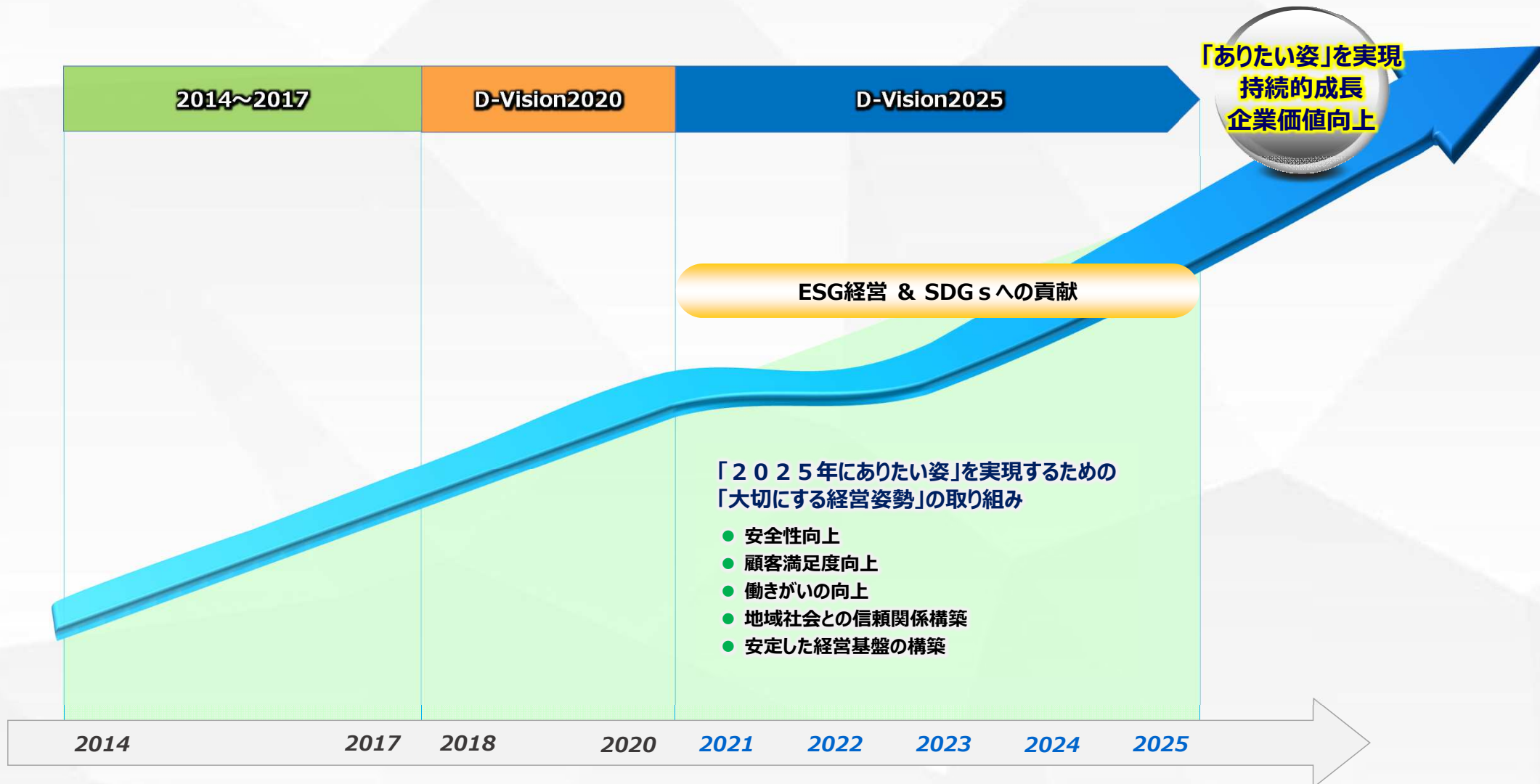
1. D-Vision2025 の位置付け



1. 持続的成長と企業価値向上に向けて

D-Vision2020では、鉄道工事を基盤とした総合建設業として安全・安心を最優先に考え、地域の皆様の発展や生活の質の向上に貢献することで、全てのステークホルダーから高い信頼と評価を得るとともに、永続的に発展し続けることを目標として取り組んできました。

D-Vision2025（2021～2025）の5年間は、新型コロナウイルス感染症の影響はあるものの、「2025年にありたい姿」に向けて急激に変化する内外の環境に的確に対応しながら、SDGsの取り組みを理解し、ESG経営を積極的に推進することで持続的成長と企業価値向上を実現します。



2. D-Vision2020 の振り返り



■ 数値目標と達成状況

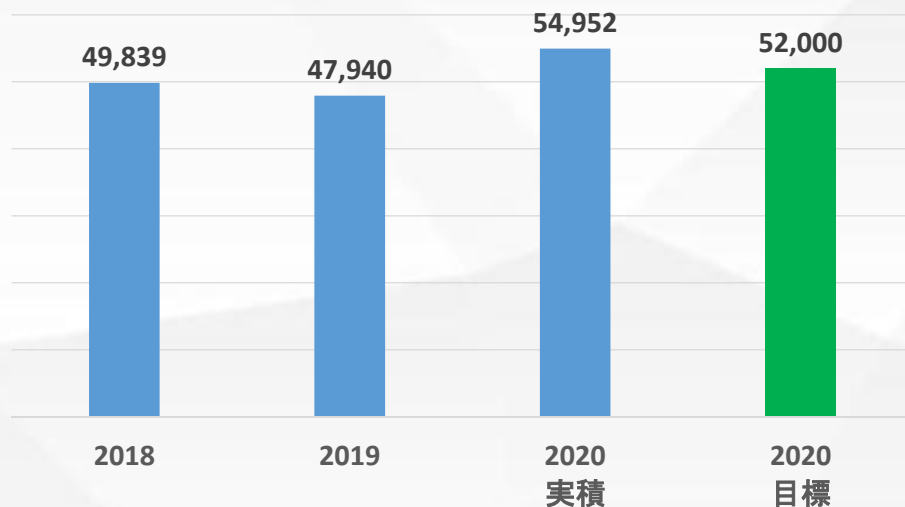
数値目標の達成状況としては、売上高は達成、営業利益は未達成となった。

(単位：百万円)	2018 実績	2019 実績	2020 実績	2020 目標	達成状況
売上高	49,839	47,940	54,952	52,000	達成
営業利益	5,067	4,005	5,127	6,000	未達成
総還元性向	22.0%	30.6%	25.7%	25%以上	達成

■ 経営成績の推移

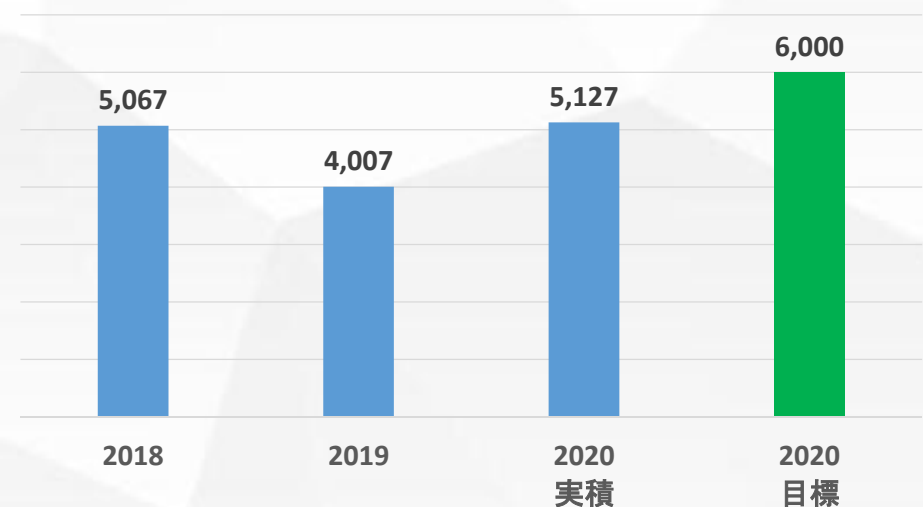
売上高

(単位：百万円)



営業利益

(単位：百万円)



2. D-Vision2020 の振り返り



重要課題の取組み 振り返り (フェイズII 経営モデル)

	取組み項目	成果	課題
企業の挑戦	<ul style="list-style-type: none"> ■ 新幹線大規模改修 ■ インド高速鉄道 ■ 更なる企業価値の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 大規模改修、施工に伴う技術開発 ■ インド高速鉄道プロジェクト参画 ■ 不動産賃貸事業の拡大 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 施工技術の開発強化 ■ 海外事業の体制整備 ■ 事業領域の拡大
企業の成長	<ul style="list-style-type: none"> ■ 働き方改革への対応 ■ 人材育成・人材活用 ■ 企業風土改革の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 労働関係規則の見直しによる健康経営の推進 ■ 4週8休 取得率の向上 ■ 研修センターのリニューアル ■ 人材育成プランのリニューアル ■ コミュニケーションとチームワークの向上 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 業務効率化による生産性向上 ■ 人財確保・社員育成・社員活躍 ■ コミュニケーションの更なる活性化
企業の礎	<ul style="list-style-type: none"> ■ 安全性向上 ■ 品質向上 ■ 技術力強化 ■ コストダウン 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 安全体験館、実設訓練設備の拡充 ■ 安全・品質グレードアップ制度の整備 ■ 施工本部の技術力強化体制の整備 ■ 技術開発体制の強化 ■ 機械化・省力化等による生産性向上 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 更なる安全性向上 ■ 更なる品質向上 ■ 技術力の強化 ■ 技術開発の推進 ■ 収益力向上 ■ 資本の有効活用

外部環境（社会・経済）

- 人口減、高齢化、建設業就労者数の減少
- 働き方改革の推進（仕事の仕組み改善、生産性向上、労働時間短縮他）
- 温暖化の影響による自然災害の激甚化
- 国土強靱化および首都圏再開発に伴う建設工事の増大
- 構造物点検、維持管理、メンテナンス工事の増加
- 持続可能な社会への実現要請の高まり（ESG経営、SDGs等）
- ICT技術の急速な進展
- 新型コロナウイルス感染症による経済の悪化、働き方の急激な変化

内部環境

- 技術開発体制の整備による技術開発の活性化
- ICT技術を活用した業務効率化・生産性向上
- 大型保線機械の維持・管理費の増加
- 社員人件費の増加
- 社会貢献活動の進展

当社の強み

- 鉄道関連工事の高い技術力
 - ・ 高い専門技術力を駆使した鉄道メンテナンス工事
 - ・ 大型保線機械による鉄道メンテナンス・除雪工事
 - ・ 鉄道土木工事（メンテナンス、立体交差、道路工事他）
 - ・ 鉄道関連施設の建築工事（駅橋上化、駅高架下開発他）
- 安定した財務基盤

当社の課題

- 安全文化の浸透による命にかかわる事故ゼロ（重大事故ゼロ）達成
- 高品質な成果物の提供による顧客満足度の向上
- ICT技術の活用による業務効率化
- 技術開発の推進による生産性向上
- 収益力向上に向けた事業展開とコスト競争力の強化
- 現場力向上と働きがいを実感できる環境構築
- 社員の健康保持・増進
- 環境に配慮した事業展開
- 社会貢献活動の推進
- コンプライアンスの強化

「ESG経営&SDGs」「大切にしている経営姿勢」「経営モデル」三位一体の経営により持続的成長と企業価値向上を実現します。

ESG 経営 & SDGs



2025年に「ありたい姿」

1. お客様に対して

- 社員一人ひとりが「安全」を判断の最優先事項として考え、安全を最優先した仕事が当たり前に行われている企業を目指します。
- お客様のニーズにあった提案と高品質の提供により、全てのお客様から喜ばれ信頼される企業を目指します。

2. 社員に対して

- 社員が自分の仕事に誇りを持ち、働きがいを実感できる魅力的な企業を目指します。

3. 地域社会に対して

- 地域に根ざした企業として地域社会の発展に貢献し、地域の皆様から信頼される企業を目指します。

4. 株主・投資家に対して

- 健全な財務体質の維持と資産効率の向上により、株主・投資家の皆様からの期待に応えられる企業を目指します。

大切にしている経営姿勢

2025年度に「ありたい姿」へ向けて5つの「大切にしている経営姿勢」を定め、事業を通じて社会的課題を解決しながら健全な経営基盤を構築することで、社会の発展と当社の持続的成長・企業価値向上を目指します。



安全を最優先する企業

一人ひとりが安全を最優先に考え行動することで、安全な現場の実現を目指します。

顧客満足を大切にしている企業

お客様のニーズの追求と施工品質の向上により、お客様との信頼関係の構築を目指します。

社員を大切にしている企業

ワークライフバランスの実現とともに、生産性向上を通じて働きがいを実感できる企業を目指します。

地域社会を大切にしている企業

コンプライアンスを徹底し、地域貢献活動を通じて、地域社会から信頼される企業を目指します。

株主・投資家を大切にしている企業

強固な財務体質の維持と資産効率の向上により、株主・投資家の皆様からの期待に応えられる企業を目指します。

経営モデル 重要課題の取組み

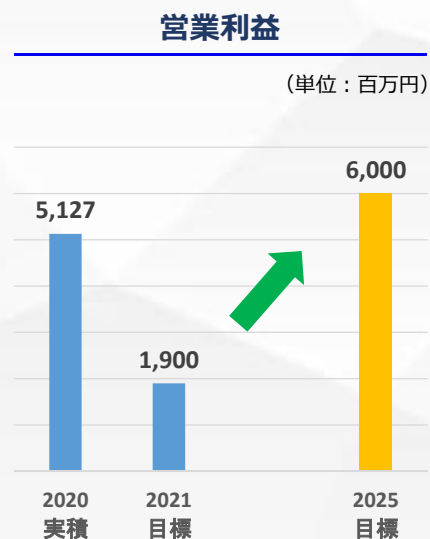
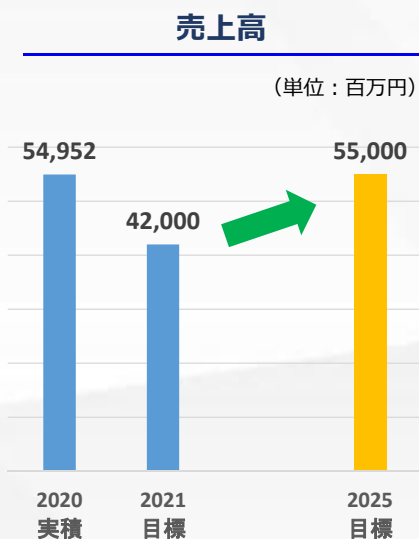




2025年度 数値目標

2025年度の数値目標は、新型コロナウイルス感染症等の影響により先行き不透明ではあるものの、影響期間を2021年から2022年の2年間と想定し、売上高550億円、営業利益60億円を目指します。

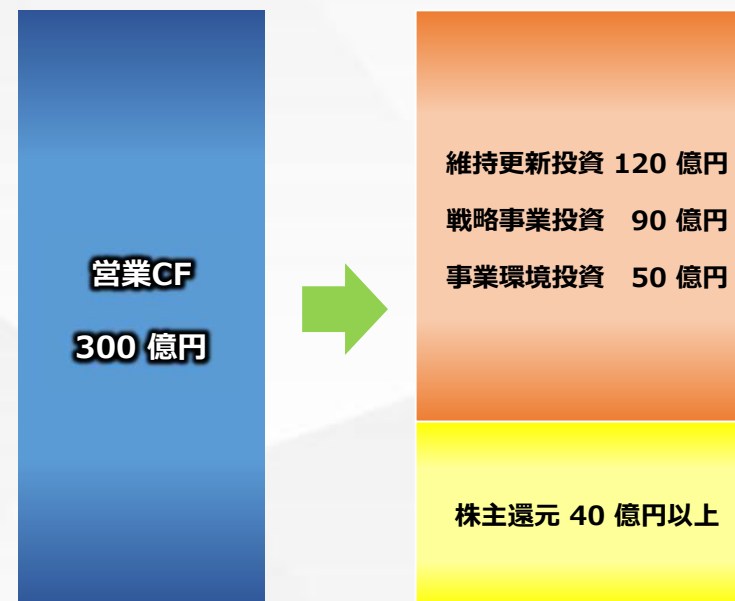
(単位：百万円)	2020年度 実績	2021年度 目標	2025年度 目標
売上高	54,952	42,000	55,000
営業利益	5,129	1,900	6,000
総還元性向	25.7%	—	30%以上
ROA (総資産利益率)	5.1%	—	5.0%



投資計画【5年間（2021～2025）】

D-Vision2025の期間中は、投資余力、投資等に対するリスクを考慮しながら持続的成長に向けた成長戦略に投資していくことで健全な経営基盤を構築します。

- 維持更新投資 120 億円程度
- 戦略事業投資 90 億円程度
- 事業環境投資 50 億円程度





ESG経営&SDG s

「2025年にありたい姿」の実現に向けて、経営モデルの取り組みと並行して、当社において中長期的に重要と考えられる社会課題を把握し、優先的に取り組むべき重点取り組み課題を特定しました。

中期経営計画 D-Vision2025においては、事業を通じて社会課題の解決に取り組むことでSDG s の目標達成へ貢献していきます。

重点取り組み項目

ESG	重点取り組み課題	関連するSDG s
環境 (Environment)	<ul style="list-style-type: none"> ●環境マネジメントシステム (ISO14001) の推進 ●産業廃棄物の適正処理 ●建設副産物の抑制、リサイクルの推進 ●有害物質等のリスク管理 ●温室効果ガスの抑制、省エネルギーの推進 	
社会 (Social)	<ul style="list-style-type: none"> ●品質マネジメントシステム (ISO9001) の推進 ●顧客満足度の向上 ●働き方改革の推進 ●健康経営の推進 ●地域社会への貢献 	
ガバナンス (Governance)	<ul style="list-style-type: none"> ●コーポレートガバナンス/内部統制の強化 ●コンプライアンスの徹底 ●リスクマネジメントの強化 ●事業継続計画 (BCP対策)の推進 	

本資料は、当社の事業及び業界動向について当社による現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。

本資料における業績予想および将来の展望に対する予想等に関する記述は、現時点で利用可能な情報に基づき判断した予想であり、経済情勢等の変動など様々な要因により予想等が実際の業績と異なる可能性がありますことをご了承ください。



連絡先：経営企画部
TEL : 025-241-8112